

## 介護職員初任者養成科 シラバス

### 《同行援護従業者養成研修一般》

#### 到達目標・評価の基準

視覚障害により、移動に著しい困難を有する者に対し、外出に同行し移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護や排せつ及び食事等の介助を行える。

視覚障害者が外出、移動を行う際に必要な援助に関する一般的な知識及び技術を習得し援助ができる。

項目名	講義内容及び演習方法	時間数
① 視覚障がい者（児）の福祉サービス	<b>講義</b> 視覚障がい者（児）の福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解し、その現状や移動支援・同行援護制度を習得する。	1 時間  [丸尾講師]
② 同行援護の制度と従業者の業務	<b>講義</b> 同行援護の制度や従業者の業務を理解する。また、リスクマネジメントを学び、実務上の留意点を習得する。 <b>演習</b> 事例を挙げその実務を行う上での留意点をグループで話し合い発表する。	2 時間  [丸尾講師]
③ 障害・疾病の理解①	<b>講義</b> 直面する頻度の高い障害、疾病を医学的に理解し援助の基本的な方向性を習得し、それに伴う留意点を確認する。 <b>演習</b> 障害よりおこる可能性のある疾病を列挙し留意点をグループで発表する。	2 時間  [高倉講師]

④ 障がい者（児）の心理①	<p><b>講義</b> 視覚障がい者（児）の心理を理解し心理的援助方法を習得する。</p>	1 時間  [井川講師]
⑤ 情報支援と情報提供	<p><b>講義</b> 移動中に必要な情報支援、提供の基礎を習得する。</p> <p><b>演習</b> 事例を挙げその状況で必要な情報提供を検討する。</p>	2 時間  [小川講師・松田講師]
⑥ 代筆・代読の基礎知識	<p><b>講義</b> 情報の支援方法としての代筆・代読を習得する。</p> <p><b>演習</b> 実例を挙げ実務上の留意点を列挙する。</p>	2 時間  [中村講師]
⑦ 同行援護の基礎知識	<p><b>講義</b> 同行援護の目的と機能、基本的原則を習得する。</p>	2 時間 [小川講師・松田講師]
⑧ 基本技能	<p><b>講義</b> 同行援護の目的と機能、基本的技術を習得する。</p> <p><b>演習</b> アイマスクを利用し実際に視覚障がい者の行動を体験し理解する。</p>	4 時間  [小川講師・松田講師]
⑨ 応用技能	<p><b>講義</b> 応用的な移動支援の技術を習得する。</p> <p><b>演習</b> アイマスクを利用し実際にさまざまな体験をし援助方法を習得する。</p>	4 時間  [小川講師・松田講師]
	合計	20 時間

《同行援護従業者養成研修応用》

到達目標・評価の基準

一般課程にて習得した知識や技術を深め、重度の視覚障がい者（児）の障害及び疾病の理解をし さらに、場面別の動向援護技術を習得その援助が出来る。

項目名	講義内容及び演習方法	時間数
① 障害・疾病の理解②	<p><b>講義</b> 直面する頻度の高い障害、疾病を医学的により深く理解する。 盲重複障がいについて理解する。</p>	<p>1 時間</p> <p>[高倉講師]</p>
② 障がい者（児）の心理②	<p><b>講義</b> 視覚障がい者（児）の心理に対する理解を深め、適切な対応ができる。 障害受容、家族心理、人間関係などを理解する。</p>	<p>1 時間</p> <p>[井川講師]</p>
③ 場面別基本技能	<p><b>講義</b> 日常的な外出に対する支援技術の習得をする。</p> <p><b>演習</b> 窓口、カウンター対応、買い物、天候に対する支援、金銭、カード、交通機関の乗降に対する基本的支援を習得する。</p>	<p>3 時間</p> <p>[小川講師・松田講師]</p>
④ 場面別応用技能	<p><b>講義</b> 目的に応じた外出先支援方法を習得する。</p> <p><b>演習</b> 病院、薬局、式典参加、冠婚葬祭、盲導犬等の支援対応を習得する。</p>	<p>3 時間</p> <p>[小川講師・松田講師]</p>
⑤ 交通機関の利用	<p><b>講義</b> 交通機関での移動支援技術の習得</p> <p><b>演習</b> 2 人一組で電車、バスでの乗降の技術を習得する。</p> <p><b>実習</b>（くしろバス・白糠線利用） 公共交通機関での実習。</p>	<p>4 時間</p> <p>[小川講師・松田講師]</p>
	合計	1 2 時間

《全身性障害者移動介護従業者養成研修》

到達目標・評価の基準

全身性の障害を有する者（児）に対して移動に際する危険や困難を回避し、外出時における移動の介護に関する知識及び技術を習得する

項目名	講義内容及び演習方法	時間数
① 障害者総合支援制度とサービス	講義 障がい者福祉の背景や動向を知り、障害者総合支援制度のサービスの種類、内容役割を理解する。	2時間  [丸尾講師]
② 移動介護の制度と業務	講義 移動介護の制度の理解と移動介護従業者の業務を理解する。	1時間  [丸尾講師]
③ 居宅介護概論	講義 居宅介護の役割と業務を理解し現状や業務基本を知り、関連機関との連携を学ぶ。	2時間  [松田講師]
④ 居宅介護従業者の職業倫理)	講義 居宅介護に従事する際の職業倫理について理解する。	1時間  [松田講師]
⑤ 重度肢体不自由者（児）における障害の理解	講義 直面する頻度の高い障害、疾病を医学的により深く実践的に理解する。介助に必要な状態象を把握、その際の移動介助の留意点を学ぶ	1時間  [高倉講師]
⑥ 介助に係る車いす及び装具等の理解	講義 移動介助に必要な車いすや装具等についての知識を深め、その構造や機能を知り選定を学ぶ。	1時間  [山田講師]
⑦ 姿勢保持について	講義 良好な姿勢保持の必要性を理解するとともにその方法や姿勢保持の留意点を習得する。	1時間  [山田講師]
⑧ コミュニケーションについて	講義 言語の障害についての理解を深め言語障害のある方への接し方を習	1時間  [高倉講師]

	得する。	
⑨ 事故防止に関する心掛けと対策	講義 事故防止のための方法や事故が起きた際の対応方法を習得する。	1 時間  [高倉講師]
⑩ 障害者（児）の心理（⑫と同時に）	講義 障がい者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。	1 時間  [石川講師]
⑪ 抱きかかえ方及び移乗の方法	講義 車いすへの移乗に際しての抱きかかえ方や移乗の方法を学習する。 演習 床から車いす、ベッドから車いす 2 名対応の移乗等、抱きかかえの技術の習得。	1 時間    [山田講師]
⑫ 車いすの移動介助	講義 車いすでの移動介助のポイントを学習する 演習 車いす移乗での平地、エレベーター、エスカレーター、乗り物を利用する留意点を習得する。	2 時間    [石川講師]
⑬ 生活行為の介助	講義 日常行為を安全に行う介助法を学ぶ。 演習 生活行為の安全な技術の習得をする。	1 時間   [山田講師]
		1 8 時間